

出前講座報告書

実施日時	2025年10月4日 9:30~11:00	主催者名	暮らしの保健室
講師名	伊勢 充	会場名	清水交流センター
テーマ	介護保険		
参加人数	13人	報告者	伊勢 充

【講座内容】

本講座では、介護保険制度の現状と課題を整理し、全国的な状況から青森県や弘前市の実態まで幅広く伝えました。

制度理念である「自立支援」や「利用者本位」が揺らぐ中、2024年度改定では訪問介護が唯一のマイナスとなり、小規模事業所を中心に経営悪化や廃業が急増しています。全国的に人材不足と担い手高齢化が深刻化するなか、青森県は高齢化率の上昇が特に著しく、2025年以降の団塊世代の後期高齢化により介護人材不足が一層深刻化する見込みです。

弘前市の廃業・休止事例や地域の声を踏まえ、市への要望活動の経緯も紹介しました。住宅改修や地域サービス活用の実例も交え、制度の限界と地域での工夫を提示し、介護事業が危機的状況にあることへの理解を求めました。

- ・訪問介護が唯一のマイナス改定: 報酬引き下げで倒産・廃業が急増。
- ・人材不足と高齢化: 担い手不足が制度存続の大きなリスク。
- ・青森県・弘前市の窮状: 高齢化率の急伸、事業所の廃業・休止。
- ・2025年以降の危機: 団塊世代の後期高齢化で地方の人材不足が顕著化。
- ・地域の工夫と要望: 住宅改修や独自制度、行政への働きかけの重要性。

【質問内容】 ※Q&A 共に要約

Q: ケアマネの対応に不満がある場合は？

A: 地域包括支援センターに相談しましょう。不満を抱えたままにせず、改善の可能性を探ることが大切です。我慢したままにしておくより思い切って要望を伝えましょう。ケアマネも相性なので、どうしてもだめなら交代も可能です。

<気づいたことや今後の教訓など>



参加して下さった皆、熱心に話を聞いてくださりました。とてもいい雰囲気の中、務めることができました。今回は事例も交えて、親しみやすいよう工夫できたと思います。薬局や居宅介護支援事業所の紹介の機会にもなり、地域の方と繋がることができました。「介護保険」となれば複雑ですが、引き続き要望のある話題について深掘りしながら、理解しやすい内容を心がけていきたいと思っています。